



一般社団法人埼玉県バスケットボール協会

U15 カテゴリー一部会会議 全体報告書

1. 第1回 U15 準備部会 2017年12月

- (1) 「全国 U15 カテゴリー部会報告」
- (2) 「リーグ戦実施について説明」

2. 第2回 U15 準備部会 2018年1月15日(月)

- (1) 「2018年度の登録について」
- (2) 「U15 カテゴリー部会の構成について」
- (3) 「リーグ戦について」
 - ① 共通レギュレーションの確認、リーグ戦実施に伴い起こる懸念材料の確認
 - ② 埼玉リーグについて提案

3. 第3回 U15 準備部会 2018年2月19日(月)

- (1) 「U15 カテゴリー部会の構成について」
- (2) 「リーグ戦における人的配置について」
 - ① 地区リーグの統括方法について、カテゴリー部会から各地区への伝達方法について、各リーグのセクション組織の方法について

4. 第4回 U15 準備部会 2018年3月12日(月)

- (1) 「リーグ戦、共通レギュレーションについて」
- (2) 「地区分けについて」
 - ① 高校と同じ地区分けにする「東西南北」
 - ② 4支部（リージョナルリーグ）に関しては、4地区で運営する。
 - ③ その下に11ブロックを新たに作成する。

5. 第1回埼玉県 U15 カテゴリー部会 2018年4月4日(月)

- (1) 「U15 カテゴリー部会の構成についての説明」
- (2) 「リーグ戦の構成について説明」
- (3) 「地区分けについて説明」

6. 第5回 U15 作業部会 2018年4月23日(月)

- (1) 「部会の構成について再検討」
- (2) 「U15 春季大会運営方法について」
- (3) 「リーグ戦、共通レギュレーション」
 - ① 第1回 U15 カテゴリー部会を終えて、支部リーグも希望制で実施する
 - ② 地区分けについて再編成
- (4) 「DCについて」
 - ① 2018年度 U14 と U13 のスタッフの確認、本年度（2018年度）の活動内容について

7. 第6回 U15 作業部会 2018年6月25日(月)

- (1) 「埼玉県 U-14 秋季大会について」
- (2) 「2018年度 DCについて」

8. 第7回 U15 カテゴリー作業部会 2018年7月26日(月)

- (1) 「DLのこれから整理すべき課題について」
- (2) 「リーグ戦化実施概要の説明会について」
- (3) 「2019 県協会U15DLのスケジュールについて再考」
 - ① 2018年で第2学年の生徒は、12月～5月までゲームが無い。県大会に関しては運営上不可能。
- (4) 「2019 県協会U15DL事業について冊子の作成、テンプレートデータの作成について提案」
- (5) 「JBA2019年度D-found 交付金活動収支予算書作成について」
- (6) 「クラブ登録選手の活動について」
- (7) 12月中に県協会のHPに「登録に関する解釈」として明文化して掲載する。
- (8) 2019年度は、2018年度と同じようにする。ただしJBAの動きをしっかりと確認すること。
- (9) 「2018DCについて」・・・7/12ユース育成委員会の報告
 - ① 2018 県DCスタッフ編成
 - ② 運営方法について
- (10) 「県協会行事への協賛について」

9. 第2回埼玉県 U15 カテゴリー部会 2018年8月29日(月)

- (1) 「登録に関するレギュレーションについての説明」
- (2) 「秋季大会について説明」
- (3) 「アンダーカテゴリー部会名簿作成」
 - ① 11ブロックの編成について

10. 第8回 U15 カテゴリー作業部会 2018年9月17日(月・祝)

- (1) 「U14 秋季大会反省」
- (2) 「育成委員会・アンダーカテゴリー部会について再検討」
- (3) 「2019 リーグ戦日程調整」
- (4) 「リーグ戦レギュレーションの最終決定」

11. 第3回埼玉県 U15 カテゴリー部会 2018年10月22日(月)

- (1) 「DLのレギュレーションの確認」
 - ① 県リーグ・支部リーグの決め方とその場合分け
 - ② DLに関する言葉の定義
 - ③ 新規参入チームの扱い
 - ④ コーチの登録に関して
- (2) 「U15 カテゴリー部会(U15C)の組織について説明」
- (3) 組織に関する話
- (4) DL事業部を新たに設置
- (5) 各セクションでDLに関係する冊子を作成する、
- (6) 11ブロックの名簿の作成



U15 カテゴリー準備・作業部会 報告書

1. 第1回 U15 準備部会 2017年12月

- (1) 「全国 U15 カテゴリー部会報告」
- (2) 「リーグ戦実施について説明」

2. 第2回 U15 準備部会 2018年1月15日(月)

- (1) 「2018年度の登録について」
 - ① 移行期間は、2018年4月～2021年3月に限る。 ※ 日本協会説明資料Cより
 - (2) 全国クラブ大会は、残り2回(2018年・2019年)
 - (3) 2018年度春季・秋季大会は県協会主催で実施。中体連が業務委託という形で協力して行う。
 - (4) 「部会の構成について」
 - ① 都道府県内にユース関連で2つの組織を作る。 ※ 日本協会説明資料Bより
 - ア ユース育成委員会：育成センター事業 (Development Center : DC) の運営
 - イ アンダーカテゴリー部会：リーグ戦・大会 (Development League : DL) の運営
 - (ア) 部長：立花正司、副部：奥谷光彦
 - (イ) 各地区運営担当は、3～4部リーグの大会会場の準備を行う。埼玉県運営は1～2部リーグの大会会場を準備する。
 - (ウ) 残りの部署に関しては、中体連で推薦をして会議で承認して作成していく。
 - ② リーグ戦について
 - ア 2018年度・・・準備期間(4月～5月中に要項完成)
 - イ 2019年度・・・実施(2020年3月 ジュニアウィンタープレ大会開催予定)
(2020年12月 第一回大会実施)
- (5) 「共通レギュレーションの確認」
 - ① 日程について(中体連大会との関係を考慮してゲームマッチデーをもうけて実施)
 - ② タイムスケジュールの例

「3チーム：半日」	「4チーム：1日」
審判は、空チーム帯同から2名	審判は、空チームから帯同1名ずつ
運動量1日2試合(8ピリ)	運動量、1日3試合(12ピリ)
集 合 8:00(13:00)	集 合 8:00
第一試合 8:40(13:40)	第一試合 8:40
第二試合 10:00(15:00)	第二試合 10:00
第三試合 11:20(16:20)	第三試合 11:20
終 了 12:30(17:30)	第四試合 12:40
	第五試合 14:00
	第六試合 15:20
	終 了 16:30

- (6) 「懸念材料の確認」
 - ① 地域リーグの会場確保と審判の確保がさらに厳しい。他競技との兼ね合いもある。(中学校側の協力体制が不可欠)
 - ② マッチデーを設定し5チームで1日体育館を確保して実施した場合。帯同審判は、2本の試合と2ゲームのベンチワークになる。拘束時間が丸1日と長く、休憩時間がない。リーグ戦という長丁場に不満を持ち非協力的になることが考えられる。(特に、専門外の顧問にとってこの日程は大きな負担に感じる)
 - ③ 拘束時間の短縮のため半日の体育館確保にする。半日の実施だと3ゲームの実施が限界。(約4時間半。8時開始～12時半まで) 3チーム以上集めることができない。
 - ④ 帯同審判1人のチームが多いことを考えると審判が1人しかいないケースが多くあると考えられる。

- (7) 「埼玉リーグについて提案事項」
 - ① リーグ戦の住み分けは、あくまでも各チームの希望で行う。日程などを考えると本当にトーナメントが本当に必要か。(検討事項)
 - ② 1つのリーグあたりクラブチーム、部活動の数の限定を決めない。
(例：Cリーグは、クラブ「1」をなくす。)あくまでも希望で行う。
- (8) Final Round First Round を入れ替える。Final Round を9月～12月。First Round を2月～5月に実施する。U15がメインになるようにする。
- (9) ジュニアウインターカップの実施方法をどうするか？(移行しやすい方法で考える。)都道府県独自が良い
- (10) タウンリーグなどレフリーが少ないリーグは、ユースレフリーの育成などを行う。
- (11) リーグ戦実施に向けて、レフリーライセンスE級の取得の推進。(年齢制限の確認)
- (12) 大会会場は、2面必要。1日2ゲーム以上必要か(検討事項)

3. 第3回 U15 準備部会 2018年2月19日(月)

- (1) 「部会の構成について」・・・名簿
 - ① 部会長の上に「学識経験者」を配置する。第三者的な視点を置く。(3～4名)
 - ② 各地区運営担当から各地区代表にする。Lリーグを総括、管理できるようにする。地区代表は、カテゴリー部会に出席してもらう。Lリーグ(4・5部)の11地区の各運営委員に伝達してもらう。会場準備等、仕事の割り振り、Lリーグでのトラブルをカテゴリー部会に報告する。
 - ③ セクション(各地区担当も含む)に関しては、中体連で推薦をして会議で承認して作成していくが、会議への出席は、1名程度の方が円滑に運営できると考えられる。セクション内(2人。中体連+クラブ)で確認する。仕事内容に関しては、各セクションから地区代表へ伝達する形がシンプルになると考えられる。
 - ④ 「学識経験者」は、2018年度がスタートしてから再度確認する。(退職等により変わる可能性があるため)
- (2) 「 役職の所管事項 」・・・JBA資料のとおり
- (3) 「 リーグ実施の人的配置の例 」・・・JBA資料のとおり

4. 第4回 U15 準備部会 2018年3月12日(月)

- (1) 「リーグ戦、共通レギュレーションについて」
- (2) 「地区分けについて」
 - ① 高校と同じ地区分けにする「東西南北」
 - ② 4支部(リージョナルリーグ)に関しては、4地区で運営する。
 - ③ その下に11ブロックを新たに作成する。
- (3) 「今後日程」
 - ① 4月23日 第5回 U15 カテゴリー準備部会：再度検討事項確認
 - ② 5月初旬 中体連専門部常任委員会：リーグ戦実施について各市町村の専門委員長に説明
 - ③ 5月中旬 第6回 U15 カテゴリー準備部会

5. 第5回 U15 作業部会 2018年4月23日(月)

- (1) 「部会の構成について」
- (2) 「U15 春季大会運営方法について」
 - ① 春季大会は、中体連専門部の各セクションに協力を依頼して組織的に運営する。
「競技部」「総務広報部」「審判部」「施設会場部」「技術普及部」
- (3) 「リーグ戦、共通レギュレーション」
 - ① 第1回 U15 カテゴリー部会を終えて、支部リーグも希望制で実施する
 - ② 地区分けについて
- (4) 高校と同じ地区分けにするのであれば、「南部C」上尾+大宮に「伊奈」を加える。
- (5) 「DCについて」
 - ① 2018年度 U14 と U13 のスタッフの確認
 - ② 本年度(2018年度)の活動内容について

6. 第6回 U15 作業部会 2018年6月25日(月)

- (1) 「埼玉県U-14秋季大会について」
- (2) 埼玉県バスケットボール協会主催、中体連が業務委託という形で本年度は、実施予定。
 - ① 来年度は「ルーキートーナメント」として新11地区で実施予定。(リーグ戦編成)
- (3) 県大会は、9月16日(日)9月17日(日)に実施。(各市町村、各支部大会の予選会は、早いところ7月上旬から実施。)
 - ① 課題、会計報告、役員費等の支出の統一(提案有り)、予選会の把握、統一
 - ② 改善策、7月11日に会計について各市町村にレクチャーを行う、(川鍋委員長、立花部長、奥谷同席)*北部は、その前に説明予定。
 - ③ 春季大会は、統一されていなかった。県大会は、引率チームのあるなし関わらず日当1500円+交通費(電車賃)で実施。しかし各支部、市町村では、運営費でまかなえないことが予想される。各市町村、各支部では、生徒引率がある帯同役員には、支払わない。(部活動手当土日祝日4時間以上で3600円支払われるため。 全県一律1500円+交通費で統一すること。
 - ④ HPに掲載した県大会の要項を参考に各支部大会の要項を作成してもらい、県協会に提出、その後HPに掲載する。統一した大会、予選会の実施を把握する。
- (4) 県大会各支部出場枠は、6月30日のJBAの登録数によって決める。各支部大会のも同様。
- (5) 「2018年度 DCについて」

7. 第7回 U15 カテゴリー作業部会 2018年7月26日(木)

- (1) 「事務局から連絡」
 - ① 末端までの情報の伝達方法を構築する。クラブには「JBAのメール」「上村から連絡」
 - ② 7月28日(土)児玉エコーピアにて第一回DCを開催「名児耶専務理事」に諸事情を説明してもらう。(台風が接近中であるが開催する)
- (2) 2019年度登録レギュレーションを12月中にHPに掲載する。
- (3) 秋季大会の各市町村の全体像を把握すること
- (4) 東部地区大会、北部地区大会、さいたま市大会、西部地区大会(市町村大会が8個)、南部A大会(市町村大会2つ)、南部B大会(市町村大会2つ)
- (5) 「DLのこれから整理すべき課題」
 - ① 冊子の作成(各地区が助かる運営マニュアルやテンプレートデータ含む)*12月初旬に完成させる
 - ② 金の整理(地区の役員費や会場費、中体連に頼ろうとしている部分など...)
 - ③ スケジュール再考(Winter Madness11月中に終了させなければならない。)
 - ④ U15登録の規定について...9月までに決定し、11月にはHP掲載
- (6) JBAの規定通り、二重登録は認めない。
 - ① 「クラブ登録選手は中体連事業に参加できる」
 - ② 12月中に県協会のHPに「登録に関する解釈」として明文化して掲載する。
 - ③ 2019年度は、2018年度と同じようにする。ただしJBAの動きをしっかりと確認する。
- (7) 「リーグ戦化実施概要の説明会について」
 - ① 課題 統一した情報が末端まで行き届かない。末端チームまで落としていく方法
 - 全体への説明前に支部代表とのすり合わせを複数回行い、修正を積み重ねる。
 - 非効率的であるが何度も地区の話聞くことが最も重要。
 - ② 以下の日程で行う。
 - ア 8月29日(水)第2回U15部会実施 → 支部代表&各セクションとすり合わせ
 - イ 9月3日(月)第5回準備部会 → 再考
 - ウ 9月17日(月)秋季大会終了後第3回U15部会実施 → すり合わせ・調整
 - エ 10月17日(水)中体連専門委員長会議 → 各市町村に伝達
 - ③ 大まかな計画、体育館施設の予約、予算立てなどを伝える。
 - ④ 2月中体連常任委員会後に報告・質疑に答える。
- (8) 「2019県協会U15DLのスケジュールについて再考」
 - ① 2018年で第2学年の生徒は、12月~5月までゲームが無い。。。
 - ② 県大会に関しては運営上不可能。

- (9) 各チーム、各市町村、各地区での強化練習試合の推進、リーグ戦の推進
- ① 今のスケジュールだと12月中にWinter Madnessだが、これだとJr.Winterの手続きは間に合わない可能性が高い。12月に全国大会なら、11月末までには、リーグの結果が出ている必要がある。全国の手続きは大体3週間は前だから。11月中にMadnessなら新人とかぶるので、11月前半までには、オータムリーグを早めなければならない。*6月の学校総合体育大会が終了後開催する6月～11月のロングスパンで行う
- (10) 「2019 県協会U15DL事業について冊子の作成について提案」
- ① 正式な決定内容を末端へ伝達する方法として冊子作成したい（JBA-Dfund）
 - ② 出来れば、県協会HPにもアップする
 - ③ 冊子の内容の検討

ア 組織表	エ 年間計画
イ 地区の構成	オ 運営例（運営担当のスケジュールデータ作成のサポート）
ウ 要綱	カ 予算と決算を付ける
- (11) 「2019 県協会U15DL事業についてテンプレートデータの作成について提案」
- ① 末端の各リーグの統一した正しい運営のサポートとして作成したい
 - ② 配信データ内容の検討
 - ③ 役割分担表 兼 対戦表、リーグ戦集計、スケジュール管、会計に関するデータ
- (12) 「JBA2019年度D-found 交付金活動収支予算書について提出」
- ① DLの予算（奥谷）DCの予算（増田）秋季の予算（泉）ウインターマッドネス（奥谷）
 - ② 4つの予算書を作成する。

8. 第8回 U15 カテゴリー作業部会 2018年9月17日（月・祝）

- (1) 「秋季大会反省」
- ① 中体連が業務委託運営という点を再度確認するべき。
 - ② 役割分担が明確でなかったため役員不足であった。
 - ③ 準備、片付け、スコアシートの準備（公式戦と同じ物を使用する。）
 - ④ 大会の名称を変える。複雑なため（例 埼玉県バスケットボール協会長杯など）
 - ⑤ 東部地区大会の会計報告が正常に行われなかった。石合東部支部長へ連絡する。
 - ⑥ 本庄シルクドームの冷房設備について確認 川鍋委員長が本庄市体育課に確認する。
 - ⑦ 16日（日）女子の試合で相手選手と接触して救急車を呼ぶことがあった。
 - ⑧ ボールの管理は、競技部に一任。管理仕方、報告を待つ。
- (2) 「育成委員会・アンダーカテゴリー部会の組織のあり方」
- ① 9月10日（月）JBA アンダーカテゴリー部会・ユース育成部会の報告
 - ② 組織再検討案（立花）
 - ③ ユース育成副委員長3名を組織に入れる。
 - ④ U14 育成マネージャーを設立する。→10月の育成委員会で提案する。
- (3) 「2019 リーグ戦日程調整」
- ① リーグ編成トーナメントは、実施しない。リーグ編成の参加希望数が拳手性により超えた場合のみリーグ編成の大会を実施する。（B）案で実施する。
 - ② U15 選抜大会への参加を配慮する
 - ③ リーグの質を考えると1部（10チーム）2部（10チーム×2）がよい。
 - ④ 入れ替え戦を行う。
- (4) 「レギュレーションの確認」
- ① 移籍の人数について（1/3Bリーグと同じ）
 - ② プレータイムについて U12と同じで前半に10人以上出場させるなど
 - ③ リーグ戦のエントリー人数
- (5) 埼玉県の部活動としては、最低人数、最大エントリー人数を確定しない。チームの事情を考えると厳しい。
- (6) 2ユニットは、引率等を考えると、2チーム目に制限をかけるのが望ましい。（例2チーム目は、7人以上とする等）



1. 第1回埼玉県 U15 カテゴリー一部会 2018年4月4日(月)

- (1) 部会の構成について
- (2) 都道府県内にユース関連で2つの組織を作る。 ※ 日本協会説明資料Bより
 - ① ユース育成委員会 : 育成センター事業 (Development Center : DC) の運営
 - ② アンダーカテゴリー部会 : リーグ戦・大会 (Development League : DL) の運営
 ※ 名簿配布
- (3) リーグ戦、共通レギュレーション (U-15 カテゴリー部会部長 立花) *別紙参照
- (4) 「リーグ戦の構成について」
- (5) 「地区分けについて」
 - ① 高校と同じ地区分けにする「東西南北」
 - ② 4支部 (リージョナルリーグ) に関しては、4地区で運営する。
 - ③ その下に11ブロックを新たに作成する。

2. 第2回 U15 カテゴリー一部会 2018年8月29日(月)

- (1) 事務局から連絡
 - ① 熱中症対応
 - ・ 今年度は適切な対応をしており、良かった。
 - ・ この熱中症対策は、次年度以降も引き続き課題である。
 - ② 国体予選。成年男子⇒準優勝、少年男子⇒ストレートで国体へ。
 - ③ 2019年8月の茨城国体より、U16 (高1と中3) が少年国体となる。よって、現中学3年生を継続して指導していく必要がある。
 - ④ 2019.1.10 から行われる天皇杯・皇后杯ファイナルは、今年もスーパーアリーナ。
- (2) 登録に関するレギュレーションについて
 - ① 二重登録は、できない。(今まで同様)
 - ② 協会登録は、中体連への影響力は持たない。よって、協会登録者の中体連大会 (総体・新人) への参加の可否についても影響を与えるものではない。
 - ③ JBAリーグ戦に関するレギュレーションの中に、「U12の飛び級」「チーム内の複数ユニットのエントリー」がある。埼玉でも、2019リーグ戦開始とともに導入する予定。
- (3) 秋季大会について
 - ① 期日: 9月16(日)・17(月) 場所: 上尾運動公園・本庄シルクドーム
 - ② 16チームによるトーナメントを実施する。
 - ③ 埼玉県協会 HP に要項が記載
 - ④ 運営方法
 - ・ 中体連の競技、総務、審判部、技術普及部 U15 カテゴリーと協力して運営する。
 - ・ 関東大会に出場したチーム (男子: 春日部豊野、越谷大相模、女子: 春日部豊野、川口戸塚) は、県大会初日に参加費 3000 円を支払う。
 - ・ チーム派遣文書の配布
 - ・ 9/3 の「作業部会」で組み合わせの素案を作成し、9月11日にHPへの掲載。
 - ・ エントリーが9月10日までとなっているので速やかにエントリーをさせるす。
 - ・ モルテン・ミカサからボールがそれぞれ24個 (7号12個・6号12個) 提供される。県大会で使用する。
 - ⑤ 当日の主な仕事分担
 - ・ 各支部代表 - 自支部からの出場チームへの伝達、そのほかの情報の伝達、支部の統括
 - ・ 運営担当 - 来年度のリーグ (チャレンジリーグ) ジュニアウインター予選の会場についての打ち合わせ
 - ・ 総務担当 - (文書) 役員派遣文書の作成、選手・チームの派遣文書の作成 (競技) 試合前の選手、チーム登録の確認
 - ・ 財務担当 - 役員の旅費交通費の管理、大会運営費の管理
 - ・ 競技担当 - 大会の競技関係
 - ・ 審判担当 - 試合の割り当て、審判員の統括
 - ・ 育成コーチ - ジニアオールスター、DC に向けて選手の発掘、U14 の選手の課題の明確化

⑥ 伝達

- ・ 来年度の春季県大は、「リーグ戦・DCの準備」により実施いたしません。
- ・ 一方で各市町村、各支部大会に関しては、選手のプレーする機会を保障するために実施することができる。
- ・ 10/17 新人代表者会議後に会計説明会実施。
- ・ お金の流れについてのお知らせを配信。

3. 第3回 U15 カテゴリー部会 2018年10月22日(月)

(1) 議題

- ① DLのレギュレーション(提案:立花)
- ② 県リーグ・支部リーグの決め方と場合分け
- ③ U15 カテゴリー部会(U15C)の組織について(提案:青木)
 - ・ 組織の在り方、組織図の確認、役割分担について

(2) その他の連絡および確認事項

(3) 報告内容

- ① 組織に関する話
- ② DL事業部を新たに設置します。各担当は次の通り。
 - ・ 事業部長(奥谷) 副事業部長()
 - ・ 競技部長(有山) 審判部長(若林) 総務部長(池田・泉) 広報()

(4) DLに関する言葉の定義

- ① グループ → リーグを戦う一つの山・かたまりを指す。
- ② ユニット → リーグ戦にエントリーする組織単位の名称。
- ③ ブロック → 旧11地区の名称を11ブロックと改める。

(5) 新規参入チームの扱い

- ① 原則、前年度実績なしとして扱うため新規参入チームにとって不利益が生じることも十分にあり得る。この根拠はDLを育成の観点からみたときに言えることであり、長期的な育成を目指すことを意図した結論である。

(6) コーチの登録に関して

- ① 厳密に選手と同じようには規定できない。そのため、二重登録を妨げるものはない。しかし、現実問題として、どういう日程であっても、指導者として参加できることが大原則なので、複数のユニットを作っても同じ指導者で行うことは実質あり得ない。

(7) 次回までの宿題

① DL関係

- ・ DLに関する大枠については、今回の資料の通りに進めることで決議された。冊子としてみた場合に現段階で必要不可欠であるというものは以下のとおりである。それを次回の会議の議題として挙げる。

内容	担当者
競技に関する手引き	有山
審判に関する手引き	若林
会計に関する手引き	池田・泉

※ 手引きというのは、実際にリーグ戦を行うための手引きである。例えば、競技であれば、大会を運営するために必要なものや手続き、人員の配置等を手引きとしての資料を作るということ。11月19日を目途に、ライン等で周知し、第一チェックを受ける。もちろんその後も何度もチェックをもらってよい。最低限11月19日までに作成をし、データをアンダーカテゴリー部会の役員で共有できるように準備をすること。

② 名簿の作成

- ・ アンダーカテゴリー部会の名簿を作成している最中ですが、4支部の下の11ブロックの名簿が作成されていないので、4支部代表が、それぞれ自分の抱える11ブロックの担当者の名簿を作成する。出来上がったものは、奥谷先生まで。

③ その他の宿題

内容	担当者
安全マニュアル	渡辺
JBAの登録およびDLのエントリーに関するレギュレーション	水野